

第 2 章

SEIL へのアクセス

SEIL の設定変更や、状態の参照をするためには SEIL にログインする必要があります。ここでは、SEIL にログインするための手段と手順について説明します。

2.1 SEIL へログインする

SEIL へのログインは次のような手段が用意されています。

1. Telnet や SecureShell に対応したターミナルソフトウェアを使用する
2. www ブラウザを使用する (SEIL/neu ATM は未対応)
3. シリアル通信に対応したターミナルソフトウェアを使用して SERIAL0 ポート (コンソールポート) からアクセスする
4. SERIAL1 ポート (拡張ポート) にアナログモデムと電話回線を接続し、ダイヤルアップ接続に対応したターミナルソフトウェアを使用して遠隔地から電話回線を使用してアクセスする

WebUI(www) を使用した方法を除き、コマンドラインでの操作になります。

ログインするまでの手順や、使用するクライアントアプリケーションは異なりますが、ログインした後の操作 (コマンドの入力) はすべて共通です。

なお、SecureShell を使用する方法とモデムを使用する方法は工場出荷状態では無効になっています。

2.1.1 ログインアカウント

SEIL へログインするにはアカウント名とパスワードを入力する必要があります。

アカウント名は"admin"と"user"がプリセットされており、変更や追加はできません。それぞれのアカウントには任意文字列のパスワードを設定することができます。(工場出荷時はパスワードが設定されていませんので、運用開始前に必ず設定してください)

2.1. SEIL へログインする

管理者アカウント "admin"

SEIL に対してすべての操作権限を持つアカウントです。設定変更や管理コマンドは管理者アカウントでログインしている場合のみ実行可能です。

本書掲載のコマンド入力例は基本的に管理者アカウントで操作する前提となっています。管理者アカウントでログインしているときはプロンプトが "# " または "hostname# " で表示されます。(hostname は、"hostname" コマンドにより設定されたホスト名)

利用者アカウント "user"

参照コマンドと接続性の確認コマンドのみ使用でき、SEIL の設定変更はできないアカウントです。利用者アカウントでログインしているときはプロンプトが "> " または "hostname> " で表示されます。

また、利用者アカウントでログイン中に "administrator" コマンドを実行し、続いて管理者アカウントのパスワードを入力すると管理者権限に移行する事ができます。

2.1.2 Telnet または SecureShell でアクセスする場合

SEIL と設定用 PC を接続して Telnet または SecureShell でログインするには、設定用 PC が SEIL と通信可能なネットワーク設定になっている必要があります。

SEIL は工場出荷状態で下記のようなネットワーク設定になっています。また、DHCP サーバ機能が有効になっているので、DHCP クライアント機能を持つ PC を使用する場合は設定用 PC のネットワーク設定を SEIL から自動取得することも可能です。

※ SecureShell 機能は工場出荷状態では無効になっています。

【参考】13.4: Secure Shell 機能 (P.142)

工場出荷状態のネットワーク設定

lan0 インターフェイス

IP アドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0

DHCP サーバ機能

IP アドレス割り当て範囲	192.168.0.2~192.168.0.254
---------------	---------------------------